

# 令和5年度 前期学校評価アンケートのまとめ（生徒・保護者）

回答 a そう思う b だいたいそう思う c あまりそう思わない d そう思わない ( ) 内は昨年度前期の結果

## 学校生活は楽しい

(生徒) a 59% (58%)  
b 34% (32%)  
c 5% (8%) d 2% (2%)



## 子どもは安心して楽しく登校している

(保護者) a 39% (45%)  
b 52% (44%)  
c 7% (7%) d 2% (4%)

子どもたちは、概ねいきいきと学校生活を送っているようです。保護者の回答からは、子どもの学校生活について「楽しく過ごせているか」などの不安な気持ちがあることが想像できます。

## 学校での学習はよくわかる

(生徒) a 34% (26%)  
b 55% (56%)  
c 9% (16%) d 2% (2%)



## 子どもは学習内容がよくわかっている

(保護者) a 13% (17%)  
b 52% (52%)  
c 28% (25%) d 7% (6%)

学習について肯定的な回答をした生徒は9割程度ですが、「そう思う」と答えた生徒は4割未満でした。また、保護者の3割以上が、お子さまの学習に不安を持っておられます。一方、「将来の夢や目標をもって学習している」の肯定的な回答は、増加傾向にあります。今年度より「社会人基礎力の育成」を学校教育目標に掲げていることを再確認し、それぞれの生徒が目標を持って学習し、夢や目標の実現につなげられるよう、一層の努力と工夫を続けます。

## 将来の夢や目標をもって学習している

(生徒) a 33% (23%)  
b 38% (42%)  
c 21% (27%) d 8% (8%)



## 子どもは将来の夢や目標をもって学習している

(保護者) a 16% (19%)  
b 50% (46%)  
c 28% (31%) d 6% (4%)

## GIGA 端末等の ICT 機器を学習等に活用している

(生徒) a 48% (45%)  
b 46% (45%)  
c 5% (8%) d 1% (2%)



## 子どもは ICT 機器を学習や活動に活用している

(保護者) a 20% (15%)  
b 51% (55%)  
c 24% (23%) d 5% (7%)

「授業における ICT 活用」が定着してきました。但し、家庭学習における活用は、授業ほどには進んでいません。3割の保護者が否定的な回答をしておられます。

## 家庭で自主的に学習している

(生徒) a 21% (20%)  
b 39% (39%)  
c 32% (32%) d 8% (8%)



## 子どもは家庭で自主的に学習している

(保護者) a 15% (20%)  
b 42% (37%)  
c 32% (28%) d 10% (15%)

自主的な家庭学習について、肯定的な回答をした生徒は6割であり、前回アンケートと変わらない結果でした。保護者の回答からも、家庭学習習慣が身につけていない生徒が多いようです。学力が、生きた力となるために、主体性と計画力は大変重要です。TOWA ノートの活用を促し、自ら目標と計画性をもって、学習する生徒を育てていきます。

## 学校のきまりやルールを守って生活している

(生徒) a 57% (59%)  
b 39% (38%)  
c 3% (2%) d 1% (1%)



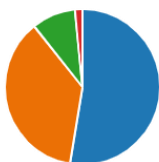
## 子どもは学校のきまりやルールを守って生活している

(保護者) a 41% (45%)  
b 52% (49%)  
c 6% (3%) d 1% (4%)

大半の生徒が「決まりやマナーを守っている」と回答しています。学校全体が、学習やその他の活動に、落ち着いて取り組める環境が整いつつあります。

自分から挨拶をしている

(生徒) a 53% (43%)  
b 37% (45%)  
c 9% (10%) d 2% (1%)



子どもは進んで挨拶している

(保護者) a 28% (30%)  
b 54% (47%)  
c 17% (20%) d 1% (2%)

「進んで挨拶をしている」の回答について、生徒と保護者に違いが見られます。人と場所を選ばず、進んで挨拶ができることが目標です。ふりかえり、行動に繋がりたいと思います。

他の人を思いやった言動ができています

(生徒) a 39% (38%)  
b 54% (55%)  
c 6% (6%) d 2% (1%)



子どもは他の人を思いやった言動ができています

(保護者) a 37% (45%)  
b 56% (49%)  
c 6% (4%) d 1% (2%)

概ね肯定的な回答でしたが、半分以上の生徒が「だいたいそう思う」でした。思いやりは、行動によって伝わります。「そう思う」と回答できる言動について、共に考えたいと思います。

悩みや困りごとを相談できる

(生徒) a 37% (36%)  
b 39% (40%)  
c 16% (17%) d 8% (7%)



子どもは悩みや困りごとを相談できる

(保護者) a 7% (8%)  
b 48% (49%)  
c 37% (33%) d 8% (10%)

「悩みや困りごとを相談できるか」について、生徒の2割以上、保護者の約5割が否定的な回答でした。気兼ねなく相談してもらえるのが一番です。まずは、話しやすい教職員に一声かけてください。

授業中に自分の考えを広げたり深めたりできる

(生徒) a 31% (23%)  
b 47% (48%)  
c 18% (25%) d 4% (4%)



子どもは授業中に自分の考えを広げたり深めたりできる

(保護者) a 14% (16%)  
b 54% (50%)  
c 30% (28%) d 3% (6%)

GIGA 端末の活用等により、さまざまなアウトプットの機会が増え、「表現」が学習の一部になっています。様々な学習が相乗効果を生むよう、インプットとアウトプットの両方を意識しながら、学びを続けたいと思います。

自分の考えを持ち、話したり書いたりしている

(生徒) a 41% (31%)  
b 43% (49%)  
c 14% (18%) d 2% (3%)



子どもは自分の考えを持ち、話したり書いたりしている

(保護者) a 13% (12%)  
b 50% (57%)  
c 31% (27%) d 6% (4%)

教科学習・道徳・総合的な学習等さまざまな場面において、自分の考えを書いたり、話したりする活動を取り入れています。表現したいと思う課題の設定、フィードバックの工夫等、引き続き行っていきます。

食事や休養に気をつけて生活している

(生徒) a 36% (34%)  
b 39% (43%)  
c 19% (18%) d 6% (5%)



子どもは食事や休養に気をつけて生活している

(保護者) a 16% (13%)  
b 47% (51%)  
c 31% (32%) d 6% (4%)

食事や休養を意識し、体調を整えることも、社会人として必要な力です。それらの知識を身につけ、実践につなげられるよう、努力していきます。

配布プリントをしっかりと渡し、学校のことを家で話している

(生徒) a 43% (38%)  
b 37% (39%)  
c 15% (16%) d 5% (7%)



学校からの情報提供は、よく行われている

(保護者) a 25% (23%)  
b 59% (61%)  
c 15% (13%) d 2% (4%)

学校からの情報提供について、概ね肯定的な回答であるものの、十分満足しておられる保護者は 1/4 でした。配布プリント・スクリーン配信・学校ホームページ等を活用し、さらに必要な情報が発信できるよう、取り組みます。

小学校と中学校で一緒に色々な取組  
をすすめていることを知っている

(生徒) a 14%(18%)  
b 23%(30%)  
c 34%(35%) d 29%(18%)



小中が連携して教育活動に取  
り組めている

(保護者) a 10%(10%)  
b 56%(54%)  
c 27%(29%) d 7%(8%)

小中連携について、生徒の認知度は  
4 割未満、保護者の肯定的回答は 6  
割 5 分という結果でした。現在、小中  
間連携を進めているところです。音羽  
ブロックだより等により、その実践を、  
保護者や地域に向けて伝えていきたく  
と思います。

令和 5 年度前期学校評価保護者アンケートについて、多くの回答をいただき、心より感謝申し上げます。

本校では、令和 5 年度スタートにあたって「不易と流行」を念頭に、学校教育目標を「自ら学び、考え、行動する力を育成するために『社会人基礎力』の獲得を目指す」と変更いたしました。社会人基礎力とは、「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」の三つの力のことで、TOWA ノート（スケジュール帳）の導入は、新たな教育目標に沿った試みの一つです。昨年度より目標として掲げている「凡事徹底」に加え、よりよい社会人として生きていくために必要な力を身につけさせることを目標に、日々の教育活動に取り組んでおります。

授業においては、GIGA 端末を使った学習を、様々な教科の、様々な単元において行っています。端末は、気軽に思いや考えを表現できるツールとして、多くの生徒にプラス効果をもたらしました。一方、自主的な家庭学習については、昨年度と同様、習慣化していない生徒が多い実態が伺えます。そのような中、自身の学習状況を振り返ることを目的とする「振り返りテスト」の実施や、タブレットドリル等を活用した学習を進めています。

健康面では、毎月 19 日を「食育の日」と設定し、昼の食育放送や食育だよりの発行、食育掲示板等により、食に関する意識の向上をはかっています。また、スクールトレーナー制度を導入し、丸太町病院の理学療法士による基礎体力向上プログラムを、各学年の体育授業に、アップトレーニングとして 11 月より導入しています。食生活や運動、睡眠等に気をつけ、健康に留意する力についても、社会人として、身につけるべきものです。

大勢が集まって行う活動が、活発に行えるようになりました。今年は、合唱コンクール・文化発表会・体育大会等の学校行事を、全校一斉に実施でき、嬉しい限りです。小中連携については、あまり進んでいないという評価をいただいておりますが、昨年度より力を入れているところであり、様々な取組を、学校ホームページや音羽ブロックだより、学校だより等で、継続してお知らせしていきたいと思います。

生徒や保護者の皆様から寄せられる相談に対し、その思いを尊重し、その立場に立って対応することを、心がけていますが、今回のアンケートから、相談しにくいと感じておられる生徒・保護者の方々が、一定数おられることがわかりました。この結果を真摯に受け止め、他人を思いやる言動・仲間意識を向上させるための学級経営（朝学活・終学活・学活・道徳・清掃活動）を今一度振り返り、全教職員が意識して取り組んで参ります。同時に、人権を意識し、生徒一人ひとりが活躍できる場をつくるため、教職員が共通理解を図り、チームとして取り組んでいきたいと思います。

今年度、残すところ 5 か月です。1、2 年生は、新生徒会の中心として活躍し、3 年生は卒業後の進路について真剣勝負の時期にさしかかっています。限られた時間は、すべての人に平等に与えられるものでもあります。今、この時を大切に、見ようとすれば見えるものを決して見逃さず、子どもたちと共に、我々も成長していけるよう、共に歩んでいきたいと思います。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。